

B U S I N E S S
R E P O R T
2 0 2 3

第50期 報告書

(2023年1月1日 ~ 2023年12月31日)



クリエートメディック株式会社

証券コード 5187

2024.8.12

クリエートメディック設立50周年



“からだにやさしい未来の医療を築く”

これからも、医療の臨床現場へ満足される医療器機を提供して参ります。



代表取締役会長兼社長 佐藤 正浩

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は1974年8月に設立し、本年8月に設立50周年の節目を迎えます。当社の経営理念「からだにやさしい未来の医療を築く」の実現と、ステークホルダーであります株主様、取引先様、従業員の期待に応えることで、当社の持続的な成長と更なる企業価値向上に努めてまいります。

さて、当社第50期の報告書をお手元にお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

■国内の経済環境と医療機器業界

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化に伴い景気は緩やかな回復が見られておりますが、一方で地政学的リスクの顕在化に加え、原材料・エネルギー価格の高騰や欧米各国によるインフレリスクに対応した政策金利の引き上げにより急激な為替変動が生じるなど、先行き不透明な状況が続いております。

■当連結会計年度の営業の概況と業績

このような状況のもと、当社グループは、営業面ではWEBを活用した営業活動、オンラインセミナーなどのマーケティング活動を展開し、さらに、医療機関等の訪問規制が緩和されたことを受けて営業活動を再開し、医療現場のニーズにお応えできるよう積極的な販売活動に取り組んでまいりました。

開発面では、中期経営計画の重点戦略分野である泌尿器系・消化器系の製品ラインナップ充実に向けた新製品開発に注力するとともに、国内外の薬事規制や欧州の医療機器規則の強化に対応したライセンスの維持、新規認証取得にも対応してまいりました。

生産面につきましては、製品の安定供給のため、生産拠点間の生産品目の分散化を図るとともに、原材料や仕入品の安定的な確保を目指して、新たな調達ルートを開拓いたしました。

以上により、売上高につきましては、自社販売における一部製品の欠品の影響により減少となりましたが、海外販売の好調により、全体では増加となりました。利益面では、円安による輸入仕入コストの増加や物流コストの高騰により売上原価や販売費及び一般管理費が増加

したものの、自社販売において販売価格の値上げを実施した効果もあり、営業利益が増加となりました。

また、現状における個別業績の収益性を基に、税効果会計における企業分類を変更し、繰延税金資産を取崩したことにより親会社株主に帰属する当期純利益が大幅な減少となりました。

これらの結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高12,585百万円（前期比2.1%増）、営業利益803百万円（前期比8.4%増）、経常利益872百万円（前期比4.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益154百万円（前期比68.1%減）となりました。

次に売上の概況を販売形態別にご報告いたします。

自社販売は、泌尿器系製品のチューマースtentが堅調に推移したものの、フォーリートレイキットが欠品となったことに加え、消化器系製品の一部を販売中止したことにより、売上高6,920百万円（前期比0.9%減）となりました。

海外販売は、中国販売のうち一部の泌尿器系製品の代替手技の普及等により減少したものの、消化器系製品が好調となり売上が増加いたしました。また、輸出販売は欧州向けの泌尿器系・消化器系製品が好調であったため、売上高4,257百万円（前期比6.4%増）となりました。

○EM販売は、検査・手術件数の回復を背景に血管系製品が好調であり、売上高1,407百万円（前期比5.0%増）となりました。

■対処すべき課題

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては社会経済活動の正常化により、景気の回復が期待される一方、海外においてはロシアによるウクライナ侵攻の長期化やパレスチナ・ガザ地区の紛争等による地政学的リスクの高まりがあり、さらに欧米中央銀行の金利政策による景気減速のリスクと、それに伴う急激な為替相場の変動により、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループでは、中期経営計画の重点戦略分野である泌尿器系・消化器系の製品ラインナップ充実に向けた新製品の開発に注力するとともに、各生産拠点では製品の安定供給のためにリスク対策とコスト削減策を強化してまいります。また、営業面では、WEBを活用した営業活動、オンラインセミナーなどのマーケティング活動を展開し、医療現場のニーズにお応えができるよう積極的な販売活動に取り組んでまいります。

2024年12月期の業績予想につきましては、新製品の上市や国内外における重点製品への販売強化により、売上高の増加を見込んでおります。また、利益面では、本社事業所の売却など収益構造の見直しや原価低減の施策により、利益の改善を図ってまいります。

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要施策と位置付け、今後の収益力向上のために内部留保による経営基盤の強化を図りつつ、安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。

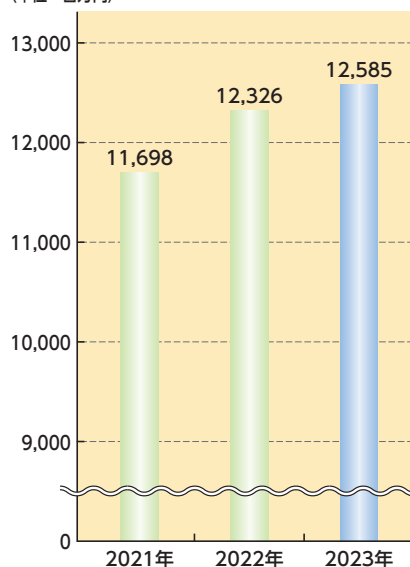
今後の業績向上に全社一丸となり邁進いたす決意がありますので、株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

業績の推移

在外子会社等の収益および費用は、従前、決算日の直物為替相場により円貨に換算していましたが、2023年（第50期）より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更したため、2022年（第49期）は変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

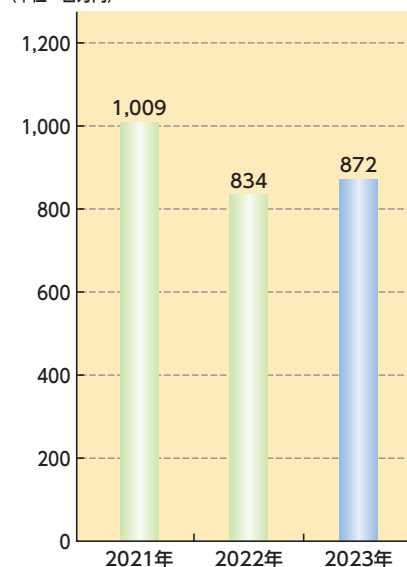
[売上高]

(単位：百万円)



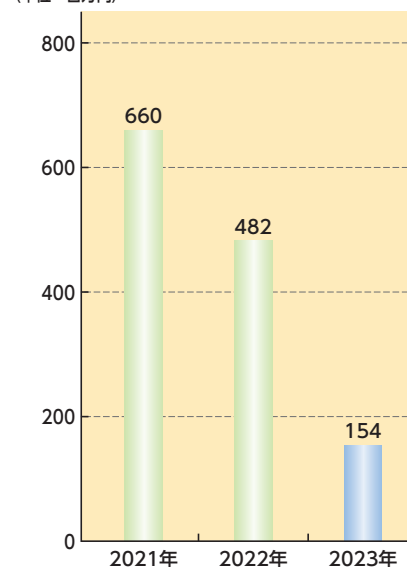
[経常利益]

(単位：百万円)



[親会社株主に帰属する当期純利益]

(単位：百万円)



区 分	2021年 (第48期)	2022年 (第49期)	2023年 (第50期)
売 上 高 (百万円)	11,698	12,326	12,585
経 常 利 益 (百万円)	1,009	834	872
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	660	482	154
総 資 産 (百万円)	18,075	18,865	19,258
純 資 産 (百万円)	14,220	14,723	14,944
フリーキャッシュ・フロー (百万円)	663	522	335
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	72.61	53.00	16.92
1 株 当 たり 純 資 産 額 (円)	1,563.55	1,618.10	1,641.59
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	37	37	37

(注) フリーキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの合計額を表示しております。

連結財務諸表

在外子会社等の収益および費用は、従前、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第50期より期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更したため、第49期は変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

■連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	第50期 (2023年12月31日現在)	第49期 (2022年12月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		12,722	12,128
現金及び預金		4,392	4,305
受取手形		171	243
電子記録債権		1,352	1,301
売掛金		1,904	1,978
商品及び製品		2,376	1,898
仕掛品		889	857
原材料及び貯蔵品		1,049	1,092
その他		591	456
貸倒引当金		△3	△5
固定資産		6,535	6,736
有形固定資産		5,389	5,162
建物及び構築物		2,456	2,435
機械装置及び運搬具		473	416
土地		1,643	1,643
建設仮勘定		293	111
その他		522	555
無形固定資産		565	636
借地権		168	165
その他		397	471
投資その他の資産		580	937
投資有価証券		454	547
繰延税金資産		85	327
その他		41	61
資産合計		19,258	18,865

科目	期別	第50期 (2023年12月31日現在)	第49期 (2022年12月31日現在)
		金額	金額
(負債の部)			
流動負債		2,967	2,816
支払手形及び買掛金		498	487
電子記録債務		288	319
短期借入金		800	800
未払法人税等		84	129
賞与引当金		52	97
役員賞与引当金		16	17
前受金		86	—
その他		1,140	965
固定負債		1,347	1,325
退職給付に係る負債		1,004	1,136
繰延税金負債		216	—
資産除去債務		2	9
長期未払金		34	66
その他		88	112
負債合計		4,314	4,141
(純資産の部)			
株主資本		13,028	13,207
資本金		1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486
利益剰余金		10,586	10,769
自己株式		△506	△509
その他の包括利益累計額		1,915	1,516
その他有価証券評価差額金		77	55
為替換算調整勘定		1,735	1,409
退職給付に係る調整累計額		103	51
純資産合計		14,944	14,723
負債・純資産合計		19,258	18,865

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産の減価償却累計額 7,082百万円

■連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第50期	第49期
		(2023年1月1日～ 2023年12月31日)	(2022年1月1日～ 2022年12月31日)
		金 額	金 額
売 上 高		12,585	12,326
売 上 原 価		7,107	6,931
売 上 総 利 益		5,478	5,395
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		4,675	4,654
営 業 利 益		803	741
営 業 外 収 益		86	103
営 業 外 費 用		17	9
経 常 利 益		872	834
特 別 利 益		56	28
特 別 損 失		24	—
税金等調整前当期純利益		904	863
法人税、住民税及び事業税		322	404
法人税等調整額		427	△24
当 期 純 利 益		154	482
親会社株主に帰属する当期純利益		154	482

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益(期中平均株式数による)16円92銭

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第50期	第49期
		(2023年1月1日～ 2023年12月31日)	(2022年1月1日～ 2022年12月31日)
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		698	478
投資活動によるキャッシュ・フロー		△363	43
財務活動によるキャッシュ・フロー		△362	△356
現金及び現金同等物に係る換算差額		95	122
現金及び現金同等物の増減額		68	288
現金及び現金同等物の期首残高		3,702	3,413
現金及び現金同等物の期末残高		3,770	3,702

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2023年1月1日～2023年12月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額				純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当 期 首 残 高	1,461	1,486	10,769	△509	13,207	55	1,409	51	1,516	14,723
当 期 変 動 額										
剰 余 金 の 配 当			△336		△336					△336
親会社株主に帰属する当期純利益			154		154					154
自 己 株 式 の 取 得				△0	△0					△0
自 己 株 式 の 処 分		△0		3	3					3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						21	326	51	399	399
当 期 変 動 額 合 計	—	△0	△182	3	△178	21	326	51	399	220
当 期 末 残 高	1,461	1,486	10,586	△506	13,028	77	1,735	103	1,915	14,944

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

個別財務諸表 (要旨)

■貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	第50期 (2023年12月31日現在)	第49期 (2022年12月31日現在)
		金 額	金 額
(資産の部)			
流動資産		7,857	7,660
固定資産		5,578	6,251
有形固定資産		2,961	3,044
無形固定資産		358	445
投資その他の資産		2,257	2,762
資産合計		13,435	13,911
(負債の部)			
流動負債		2,511	2,398
固定負債		1,134	1,199
負債合計		3,646	3,598
(純資産の部)			
株主資本		9,712	10,257
資本金		1,461	1,461
資本剰余金		1,486	1,486
利益剰余金		7,269	7,819
自己株式		△506	△509
評価・換算差額等		77	55
その他有価証券評価差額金		77	55
純資産合計		9,789	10,313
負債・純資産合計		13,435	13,911

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第50期 (2023年1月1日～ 2023年12月31日)	第49期 (2022年1月1日～ 2022年12月31日)
		金 額	金 額
売上高		9,887	9,848
売上原価		6,610	6,513
売上総利益		3,277	3,334
販売費及び一般管理費		3,716	3,727
営業損失(△)		△438	△392
営業外収益		733	1,183
営業外費用		8	7
経常利益		285	783
特別利益		－	4
特別損失		24	－
税引前当期純利益		260	788
法人税、住民税及び事業税		86	128
法人税等調整額		386	2
当期純利益又は当期純損失(△)		△212	657

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■株主資本等変動計算書

当事業年度 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(単位：百万円)

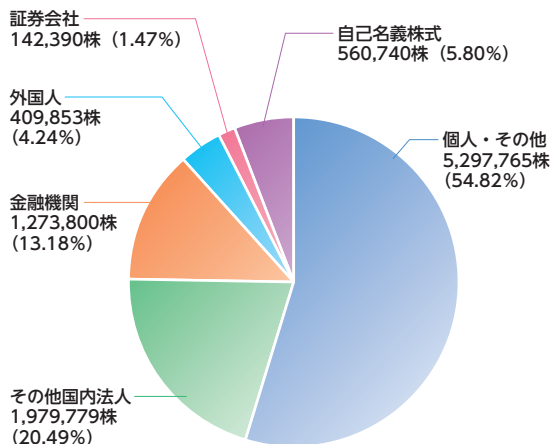
	株主資本										評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	その 他有価証券 評価差額金	評価・換 算差額等 合計	
		資本 準備金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計		利益 別途 積立金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計					
当 期 首 残 高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	2,769	7,819	△509	10,257	55	55	10,313
当 期 変 動 額													
剰 余 金 の 配 当								△336		△336			△336
当 期 純 損 失							△212	△212		△212			△212
自 己 株 式 の 取 得									△0	△0			△0
自 己 株 式 の 処 分			△0	△0					3	3			3
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)											21	21	21
当 期 変 動 額 合 計	－	－	△0	△0	－	－	△549	△549	3	△545	21	21	△523
当 期 末 残 高	1,461	1,486	0	1,486	150	4,900	2,219	7,269	△506	9,712	77	77	9,789

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2023年12月31日現在)

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 9,664,327株
- 株主数 7,706名

株式分布状況



役員 (2024年3月28日現在)

代表取締役会長兼社長	佐藤 正 浩
取締役専務執行役員	赤岡 洋 三
取締役執行役員	遠藤 晋 一
取締役執行役員	秋元 克 也
取締役執行役員	今澤 修
取締役常勤監査等委員	橋井 敦
取締役監査等委員	磯貝 和 敏 (社外取締役)
取締役監査等委員	日暮 良 一 (社外取締役)
取締役監査等委員	工藤 敦 子 (社外取締役)

会社の概要 (2023年12月31日現在)

- 本社所在地 〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号
- 設立 1974年8月12日
- 資本金 1,461,735,390円
- 事業所 北海道工場、水戸事業所、研究開発センター、9営業拠点（札幌、仙台、さいたま、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡）

(注) 1. 2023年4月1日をもって、神奈川営業所と多摩営業所を統合し、新たに横浜支店を開設いたしました。
2. 千葉営業所は営業体制の効率化を目的に管轄テリトリーを東京支店に移管し、2023年3月31日をもって閉鎖いたしました。

- 連結子会社 大連クリエート医療製品有限公司
クリエート国際貿易（大連）有限公司
九州クリエートメディック株式会社
ベトナムクリエートメディック有限会社

製品紹介

クリエートメディックでは、安全性が高く、違和感や苦痛が少ない素材であるシリコンを用いた製品を幅広く取り扱っております。また、高度な技術を背景に医師や看護師など医療従事者とともに、医療現場の様々なニーズを取り込んだ製品開発をおこない、患者様のQOL (Quality of life) の向上を目指しております。

泌尿器系



留置導尿関連製品

全身麻酔による手術後など排尿が困難な場合に、尿道からカテーテルを挿入して膀胱内の尿を排出します。また、持続的な排尿が可能です。



腎瘻（じんろう）造設術関連製品

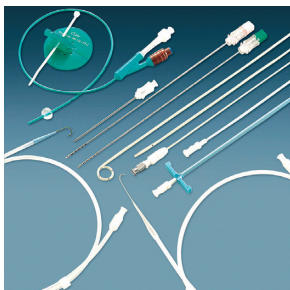
尿管の通過障害による腎後性腎不全などのときに、経皮的に腎臓にカテーテルを留置し排尿することを目的とします。



自己導尿関連製品

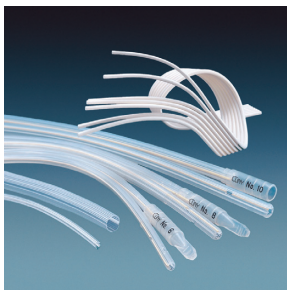
排尿障害などを起こした場合に、患者様が自らまたは介護の方が一定時間毎に尿道にカテーテルを挿入して排尿するためのカテーテルです。

外科系



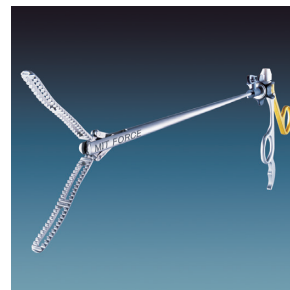
PTCD関連製品

胆管や胆嚢にたまった胆汁を経皮的に排出するキットで、手技に必要な器具が滅菌済トレイに入っています。また、確実性の高い穿刺を可能とする超音波穿刺針を用いて、経皮的にカテーテルを留置します。



ドレーンチューブ

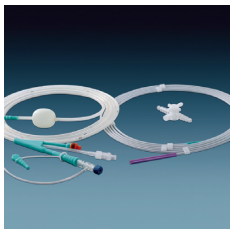
手術後の傷口などにたまった血液や尿などを、外に排出するためのドレーンチューブです。ドレーンから排泄される体液の色や状態をチェックすることで、術後の経過や異常を発見することができます。



腹腔鏡下内視鏡手術用製品

より低侵襲を追求した細径の鉗子で、開腹することなく腹腔鏡下で手術をおこなう際に使用します。

消化器系



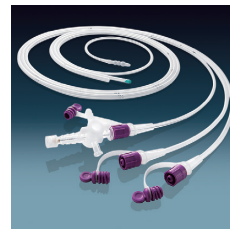
イレウス関連製品

イレウス（腸閉塞）の患者様に、鼻または肛門からカテーテルを挿入して、腸内にたまった内容物を吸引・減圧するために使用します。また、挿入したカテーテルに造影剤を入れ、患部の造影をおこないます。



胃瘻（いろいろ）造設術関連製品

脳血管障害などで自発的に栄養を摂取できないときに、経皮的に胃にカテーテルを挿入して栄養を投与します。



栄養投与関連製品

開口障害や全身衰弱が著しく食物の摂取が不可能なときに、鼻から胃内や腸に挿入して栄養投与をおこなうものです。

麻酔・呼吸器系



麻酔関連製品

術後や末期がんの患者様などの「疼痛管理」に使用される携帯型ディスプレイ付き注入ポンプです。注入量は長時間使用しても安定しており、術後の患者様の痛みを和らげる短期的な使用に威力を発揮します。



呼吸器関連製品

気道の確保が必要で気管挿管が困難な患者様に、気管とその上部の皮膚を切開して挿入する気管切開チューブです。

看護・検査系ほか



看護関連製品

あらゆる尿路ストマー装置や、尿失禁用カテーテルに接続することができ、大腿部・下腿部に固定することで、無理なく社会生活をおくることが可能です。



生検針

生体から細胞・組織を針を刺して採取したり、吸引して採取する針です。

株主メモ

- **事業年度** 毎年1月1日から12月31日まで
- **定時株主総会** 毎年3月下旬
- **定時株主総会の基準日** 毎年12月31日
- **期末配当の基準日**
- **中間配当の基準日** 毎年6月30日
- **公告方法** 電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
- **株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(特別口座の口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社
- **郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

- **住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **特別口座について**
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



フリエートメディック株式会社

本 社

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南二丁目5番25号

TEL (045) 943-2611 URL <https://www.createmedic.co.jp>